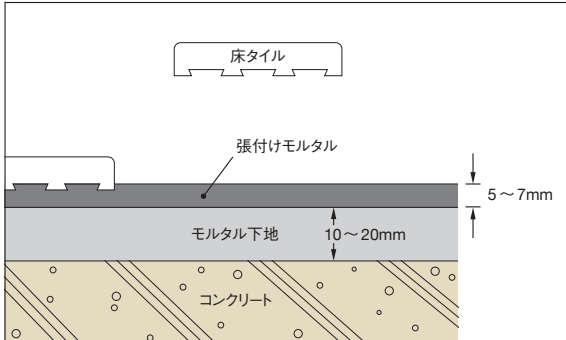


セメントモルタル張り工法

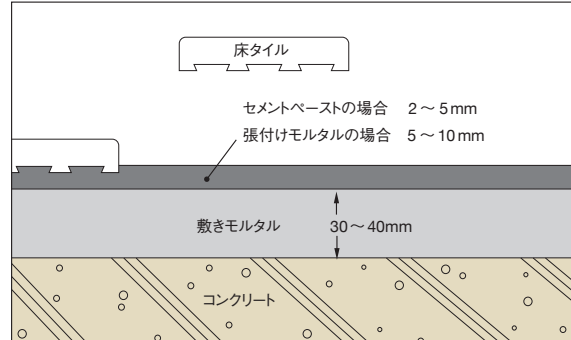
セメントモルタル・接着剤を使用した代表的な床タイル施工法をご紹介します。タイルのサイズや施工箇所に合わせて工法をお選びください。

1. 圧着張り



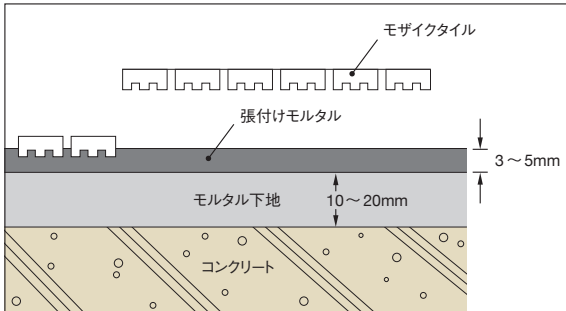
- 300mm 角未満のタイルに適します。
- 床の下地面は様々な汚れが付着しています。タイル張りをする前に下地を清掃してごみや汚れを取り除きます。
- 張付けモルタルは必ず二度塗りしてください。一度目のモルタル塗りは、こて圧をかけてしこくように塗ってください。
- 張付けモルタルの塗り厚は裏あしの高さなどを考慮して決めます。目安は5～7mmです。
- タイルを揉み込むようにして張り、ゴムハンマーなどでタイルの周辺からモルタルがはみ出すまで、入念にたたき押さえを行います。

2. セメントペースト張り



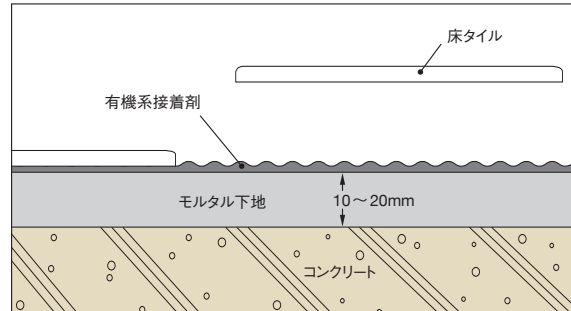
- 小面積の施工および300mm 角未満のタイルに適します。
- 床の下地面は様々な汚れが付着しています。タイル張りをする前に下地を清掃してごみや汚れを取り除きます。
- 敷きモルタル（バサモルタル）を敷きならし、木こてなどで締め固めて平坦な下地とし、モルタルが未硬化のうちにセメントペーストを塗布します。
- ゴムハンマーなどでタイルをたたき込んで張付けます。

3. モザイクタイル張り



- 床の下地面は様々な汚れが付着しています。タイル張りをする前に下地を清掃してごみや汚れを取り除きます。
- モルタル下地に張付けモルタルを塗り付け、すぐにモザイクタイルを張付けます。
- 表紙貼りが目地からはみ出したモルタルで湿るまで、たたき押さえを十分行います。

4. 屋内床接着剤張り



- 適用部位は屋内の床とし、適用下地はモルタル・合板とします。
- 床面への内装接着剤張りは、下地全面に接着剤を塗り付ける施工法です。荷重や衝撃によりタイルにひび割れが発生することがあるため、部分的に接着剤を塗ることはしないでください。

注意事項

- 床タイル施工時は事前にタイル裏面への接着剤（張付けモルタル・有機系接着剤）の充填性を確認してください。
- 充填性が不足する場合、接着力が低い場合または何らかの要因で接着力が低下した場合、適切な伸縮目地等を取らない場合、タイルにかかる応力により反りや剥離が生じることがあります。特に大形タイルを床に施工する場合ご注意ください。
- 大形タイルをセメントペースト張りで施工しないでください。